

# 米川地域づくり拠点施設 基本構想



## 現況・課題

### 米川地域

- ☆面積・・・25.5km<sup>2</sup>（本市の約28%） ※大半が都市計画区域外。
- ☆人口・・・令和4年12月末時点 489人（この10年間で約25%減少）  
※65歳以上の人口比率は55.8%で市内最高値。
- ☆多くの人が訪れる交流の場（豊かな自然、イベント開催、観光名所、特産品づくり）。
- ☆バス路線の廃止に伴い、令和元年10月にコミュニティバス「米泉号」が運行を開始。  
高齢者を対象とした「米川あったか便」が地域のボランティアにより実施。

### 米川公民館

- ☆米川出張所併設、米川診療所設置。
- ☆旧米川小学校の施設を使用。建築後70年近くが経過し、施設の随所で老朽化が進行。  
耐震第一次診断では、現行の耐震基準を満たしていないという結果。
- ☆公民館までの道路が狭く坂道もあり、見通しが悪いため交通安全上の問題あり。
- ☆スロープやエレベーター等がなく、バリアフリー対応となっていない。

〈現在の米川公民館〉

所在地	大字下谷 167-1	建築年	昭和29年
構造	RC造・2階建(地下1階)	床面積	815.56㎡(外部倉庫含む)
主要諸室、機能等	事務室(出張所併設)、和室、会議室、診療所		
指定避難所	○(洪水、高潮、津波)、×(土砂、地震)		
耐震一次診断	無	耐震二次診断	—

## コンセプト

米川地区「夢プラン」を実現する持続可能な地域づくりの活動拠点を目指します。

### (1) 地域づくりの拠点

米川らしさを生かした地域づくり、暮らしや学びの活動拠点となる施設

### (2) 地域防災の拠点

地域の防災拠点として、災害に強く、地域の総合防災力の充実・強化につながる施設

### (3) にぎわい交流の拠点

子どもからお年寄りまで、地域内外の多様な世代が集い、人の輪が広がる施設

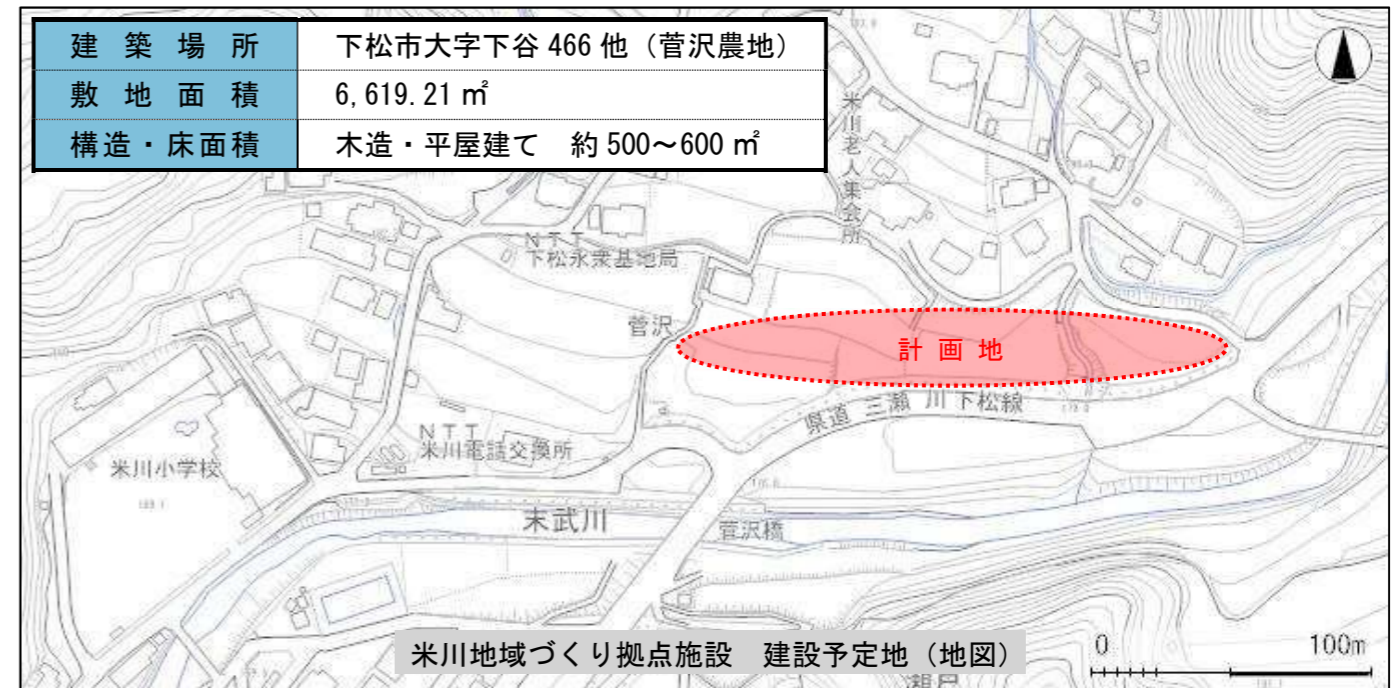


## 施設整備の方向性

- ☆これまでの施設の機能を維持しつつ、様々な機能を複合的に兼ね備えることにより、利用者の利便性を高める。周辺の観光施設との地域内循環の向上を図る。
  - 公民館・出張所の機能、診療所、バスの待合、情報発信コーナー、図書コーナー、展示・物販スペース、キッズスペース、多目的広場など
- ☆災害時の避難所、消防団の活動拠点として活用。
  - シャワー室、屋外からも利用可能なトイレ、消防機庫、防災広場など
- ☆年齢や障害の有無等を超えて、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン。
  - 身障者用駐車スペース、バリアフリー乗降場、おむつ替え台など
- ☆豊かな自然と調和をとり、周辺の居住環境に配慮。
  - 木造・平屋建て、遊歩道、花壇・緑地など



## 計画概要



## 事業スケジュール

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
計画		基本構想・計画			
設計			基本・実施設計		
造成				造成工事	
建築					建築工事
外構					外構工事



※あくまでも予定ですので、変更になる場合があります。